

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

2013年巳年 **祝** 成人!!



感謝、感謝の手紙です…



1月4日（金）、村農村環境改善センターにおいて、2013年巳年成人式が行われました。今年の成人者は49名。このうち艶やかな着物、スーツ、お揃いの羽織袴に身を包んだ43名が式典に出席しました。会場には成人者の家族やお祝いに来てくれた先輩たちでいっぱいになり、成人者を代表して名嘉宏美さんはあいさつの中で「それぞれの場所で、それぞれの夢に向かって頑張り、お世話になった方々や故郷に恩返しできる人になりたい。」と抱負を述べてくれました。式典後の激励交歓会では校区毎に工夫をこらした余興が繰り広げられ会場を沸かせました。成人者たちは久しぶりに過ごす旧友との時間を存分に楽しみました（きっと…）。

大宜味中大城校長先生よりメッセージをいただきましたのでご紹介します♪

私の歩んできた道 大宜味中学校校長 大城 覚

大宜味中学校に赴任して、早3年が過ぎようとしております。保護者・地域の理解と協力で何とかやってこれました。感謝申し上げます。さて、「あじま〜」はいつも楽しく読ませてもらっておりますが、特に、1月号の池原弘昭先生の若かりし頃の話には感銘を受けました。味のある文章と相まって、「事実は小説よりも奇なり」を感じます。これに刺激され(?!),私も少し書いてみたいくなりました。今日は、私の歩んできた道を少し振り返ってみたいと思います。あまり参考にはならないと思いますが、読んでいただければ幸いです。

私は、大学の理工学部数学科を卒業し、一年間大学で研究生として過ごしたのち、昭和56年、東京の富士通というコンピュータ会社に入社しました。S.E（システム・エンジニア）と呼ばれる仕事をしていました。もちろん、先生になろうという気は、ぜんぜんありませんでした。教わった大学の先生方の中には立派な方もたくさんおられましたが、私自身は教師としての能力など、まったくないと思っていたからです。

大学で理科系に入ったのは、別に理科系が好きだったからではありません。文化系に進んで、文学者になる才能も、政治家や弁護士になる才能もないし、会社に入って事務をとるなんて、考えただけでもいやでした。それで理科系に入ったのです。

好きなことをやるのではなく、嫌いなことをしないというのは、ずいぶん消極的な生き方です。でも事実だからしかたありません。これでは先生はできません。先生というものは、すばらしいものを子どもに、なんとかして身につけてほしいと積極的に願う仕事だからです。



バブル経済の影響で、あまり勉強していなかった私のような学生も、富士通に入社して、コンピュータの仕事をすることができました。ここで過ごした数年は、教育とはぜんぜん無関係なのに、私にとっては一生の財産で、教育研究に一番役に立っています。

その当時、コンピュータはアメリカが中心で、我々は先輩と一緒に、アメリカから取り寄せた専門誌を毎日読んで研究しました。S.Eという仕事は、ユーザー（お客さま）から依頼された仕事を「コンピュータを使って、効率よく、正確に速くできる」システムをつくることです。たとえば、私がかかわった仕事の一つとして、トヨタ自動車の「乗り心地試験」システムがあります。これは、振動や騒音、加速性などをセンサーというものを車につないで測定し、コンピュータで分析して自動車の設計に生かすというシステムです。富士通では、まったくゼロからモノをつくりあげる・・・という経験をたくさんしました。いろいろな専門の人たちと話し合う、世界中の最新の情報をたえず勉強する、この二つがどんなに大切か、身につけたように思います。

昭和61年に、私の会社が、ある専門学校に大型のコンピュータを入れました。そこで、コンピュータの指導をしてほしいと頼まれ、専門学校に移りました。そこでは様々な分野のプロの先生方がおり、自分の知らない多くの世界を知ることができました。ところが、私のいた専門学校では、教育方針が人間教育よりも資格重視の教育でした。どんなにまじめに頑張っても、検定試験に受からなければ卒業資格が得られません。私は、理事長や主任と考えが合わなくなり、専門学校を辞めることにしました。しかし、現在でも親交を温めている元同僚・真謝稔先生（屋古出身で、米国留学及び米国での長い生活経験から豊かな視点を持ち、英語はもちろんシナリオ・戯曲の専門家として活躍中）もおり、私の大切な親友（心友）となっています。

そして、昭和63年に名護市内のN中学校に勤めることになりました。そこで、大宜味村の先輩方である池原弘昭先生や吉田春子先生、金城祥一郎先生に出会うこととなります。公立の学校生活は専門学校のものよりすてきでした。生徒も先生方もいろいろいて、それだけでも、ぐっと世界が広がった感じがしました。

学校の役目で大切なのはそこのことです。自分の家庭やせまい地域内だけで生活するだけなら、特別に考える必要もなく、慣習だけで行動していればよいでしょう。けれども、広い世界にはきわめて多様な考え、多様な生活があります。それを理解し、その中で適切に行動しようとするれば、どうしても新しい「知恵」が必要になります。その知恵を与えるのが、学校であり、先生なのです。教師という仕事を通して、私は教える喜びや学ぶ楽しさなど多くのことを学び、成長させてもらったと思っています。



このように、私はこれまで三つの職業を経験して現在に至っております。しかし、まだまだ自分が未熟である(!?)ということを実感しています。これからも、自分を磨きながら生徒たちのために、少しでもいい学校をつくっていきたくと思っています。

(平成25年1月)



喜如嘉保育所



保育所マラソン駅伝大会

1月15日（火）、喜如嘉のタープで喜如嘉保育所マラソン&駅伝大会、17日（木）に塩屋部落内で塩屋保育所新春マラソン駅伝大会が行われました。

15日は天候に恵まれ、絶好のマラソン日和、17日は雨は降らないもののムーチャービーサーのごとくとても寒い中、子どもたちは保護者や地域の方々の応援を背に元気いっぱい、力いっぱい走り抜けました。



塩屋保育所

お母さんといっしょ♪



輝くメダルを胸に… 津波小学校持久走大会

1月18日（金）、津波小学校で持久走大会が行われました。太陽が出ているものの、海風は強く肌寒い天候の中、名の児童たちは自分の立てた目標タイムに近づけるよう、一人一人が自分の力を精一杯発揮して走り抜けました。



小学高最後の持久走 みんなで一緒に…

各学年、競走の部の1位の児童には吉田春子先生から特製のメダルが授与されました。今年で4回目となるメダルの贈呈。春子先生は「メダルをもらうことで、自分の力が評価されていることを知り、自信につながる」と話してくれました。



春子先生からのメダル。最後まで頑張った証。



1年生、初めての持久走

各学年1位（競走の部）

- 1年生：島袋 楓磨
- 2年生：島津 邑斗
- 3年生：當間 勝人
- 4年生：仲宗根 舞
- 5年生：金城 海斗
- 6年生：花城 瑞姫
- すみれ：伊波 興真

学び舎に恩返し 後輩たちのために… 大宜味小中学校 21期生、還暦記念に図書贈呈

1月8日（火）、大宜味小学校（島袋きよみ校長）に、金城勤子（いそこ）さん、宮城喜恵子さんが訪れ、大宜味小中学校 21期生（巳年生まれ）の還暦記念として、図書を贈呈しました。今回、贈呈された図書は、「アリス館 2012 新刊えほん」「日曜日の教室シリーズ」など児童たちからのリクエストに応じたバラエティに富む内容の27冊。

勤子さんは「還暦を記念してお世話になった母校に感謝の気持ちを表したかった。21期生みんなで話し合い、児童の役に立ててほしいという思いで本を寄贈することにした。小さな学校だけれど、みんなのびのびと育てている。本を読んで、心の豊かな子になってほしい。」と思いを寄せました。



ようこそ、大宜味村へ

大宜味小に崎山和史教頭先生着任

平成24年度の途中人事により、大宜味小の照屋巧教頭先生が伊平屋村の野甫小学校へ校長先生として昇任され、1月からは崎山和史先生（金武町嘉芸小より）が新たに教頭先生として着任されています。

和史先生よろしくお願いたします。



種から育てた大根をみんなに振舞うために… 喜如嘉小ウッチン漬けづくり

昨年の観桜会で好評だった喜如嘉小児童手作りのウッチン漬け。今年も保護者や地域の方々の期待に応え、山城克子さん指導のもと、5、6年生が自分たちで育てた大根でウッチン漬け作りが行われました。今年、種から育てた大根は60kgも収穫され、ウッチンに漬けるまでにかかった時間は3日間にもなりました。



喜如嘉校区のみなさん、今年の観桜会ではおいしいウッチン漬けを楽しみにしてください。



大根を切ったり、水気を搾ったり、手際よく進める子もいれば、慣れない手つきの子もいたり、作業の様子から家のお手伝いをよくしていることが伺えました。

つなげた思い…地域で作り上げた功績 喜如嘉小環境大臣賞祝賀会

1月19日（土）、喜如嘉小学校において「環境大臣賞」受賞報告並びに祝賀会が行われました。

はじめに行われた報告会では5、6年生が研究成果を報告しました。昨年の夏休みの間に観察した結果と先輩たちが残した結果を比較し、ちょっとした環境の変化で鳥たちに影響を与えていることやこれからの課題など、わかりやすく丁寧にまとめてあり、「野鳥を守るためにはその地域一帯の環境を守ることが大切」と締めくくりました。



祝賀会では地域の方々が三線や琴で幕開けの演奏や、中学生の山城萌恵さん、香恵さん姉妹のフラメンコなど地域みんなで授賞を祝いました。

心震わせる演技に感銘！！

劇団たんぽぽ「100万回生きたねこ」公演



2月の学芸会を前に、1月22日（火）、喜如嘉小学校体育館にて劇団たんぽぽによる公演が行われました。

今年の上演作品は「100万回生きたねこ」。絵本ではおなじみの作品ですが、劇になり、いきいきと動くねこの姿に子どもたちはあつという間に魅了され、話に引き込まれていきました。

役になりきり、表情豊かに演じる劇団員。劇中はホロっとくる場面もあり、絵本だけでは伝わらない、胸にズ〜ンと何かを残す公演となりました。

第51回全沖縄児童生徒書き初め展

津波小花城綾姫さん、瑞姫さん姉妹金賞に輝く

第51回全沖縄児童生徒書き初め展において、津波小学校6年の花城綾姫さん、花城瑞姫さんが金賞を受賞しました。綾姫さん、瑞姫さんおめでとうございます！！

平成25年度 大宜味村立大宜味幼稚園

園児募集のお知らせ



1. 入園条件

- (1) 村内に住所を有する者
- (2) 平成19年4月2日～平成21年4月1日までに出生した幼児

2. 提出書類

- (1) 幼稚園申込書
- (2) 幼児の住民抄本1通
- (3) 幼児の健康診断書



3. 募集期間

- ・平成25年2月12日（火）～2月18日（月）
 - ・大宜味村教育委員会にて受付
- お問い合わせ 44-3006（島袋）



新緑の塩屋湾を走ろう！

第34回 塩屋湾一周トリムマラソン参加者募集

2013年4月21日（日）開催

2月18日（月）より申込受付開始

申込締切：3月22日（金）予定

お問い合わせ：塩屋湾一周トリムマラソン大会事務局

教育委員会内 Tel0980-44-3006 担当：大宜見まで



教育委員と聞いたら「厳格」とか「お堅い」とかそんなイメージはありませんか？

大宜味村への熱い思いを持ちつつ、実は気さくな先生方。このコーナーではそんな先生方の教育に対する思いや地域への思いなどを様々な形で紹介したいと思います。

教育委員だより

「暦についての調べ学習」

涌井充雄

もうすぐ旧正月ということで「暦」について調べてみました。

昔の人は、月や太陽の動きを観察してひと月や1年の長さを知りました。月の満ち欠けを基準にして決めた暦が太陰暦で、一年は30日の大の月と29日の小の月が交互に12カ月354日（閏年は355日）。年の初めは季節と関係なしに移動し、33年で一周りします。この純粹太陰暦はイスラム教の国で使われています。

中国では殷代ごろ太陰太陽暦が作られ、漢代にほぼ暦法が確立し、その後、若干の改良が重ねられ現代に至っています。中国の暦は飛鳥時代に日本に伝えられ、江戸時代まで輸入の暦が採用され使われました。暦の制定は時を支配するという面もあり長い間、朝廷の陰陽寮の所管でしたが、1684年幕府天文方渋川春海が中国暦に改良を加えて、「貞享暦」（日本人の手による最初の暦）を作りました。以来、編暦事業は幕府天文方に移ることになりました。

余談ですが、幕末、伊能忠敬を助けて「大日本沿海輿地全図」を完成させた高橋至時、景保親子が幕府天文方です。

沖縄では琉球王国時代、中国の冊法を受けていましたから、明、清直輸入の太陰太陽暦を使っていました。

古代ローマでは、1年は春3月から始まる10カ月でした。その後12カ月355日の太陰暦となりましたが、長い間に実際の季節とずれて不便になったので、紀元前46年カエサルはエジプトに習って1年が365日の太陽暦に改めました。ユリウス暦の7月と8月はユリウスと初代皇帝アウグストゥスにちなんで改称されます。（July. Aug.）

1582年ローマ法皇グレゴリオ13世がユリウス暦を改良してグレゴリオ暦が作られました。キリスト教と共に新大陸に広がり、これが現在世界中で広く使われている太陽暦です。

日本では1872年（明治5年）に欧米諸国と同じ太陽暦を採用します。この時福沢諭吉の書いた太陽暦入門書「改暦弁」がベストセラーになり、慶応義塾運営の財源になったそうです。

旧暦は月の運行をもとにして作られているので、潮の干満を知るのに都合が良く漁業の町糸満では、旧暦中心の行事が盛んです。

古来からの伝統行事は、旧暦の方が季節に合うように思います。たとえば、ひなまつり、新暦の3月3日では東北地方はまだ雪の中です。伝統行事の意味を良く理解して、旧暦を暮らしの中うまく取り入れたいものです。





ドワーチユイムニー（独り言）

友寄景善

大学入試センター試験が一月一九日と二〇日の両日実施され、大学入試が本格化してきた。センター試験を踏まえ更に各大学の二次試験に挑むことになる。試験結果を十分に分析し、自分に適した大学を選択してほしい。合格まで越えなければならぬハードルはまだ続き、これからが正念場となる。

合否判定は、試験結果が全てである。誰も手伝えることができない自分自身だけが頼りである。体調を整え普段の力を発揮してほしい。最近では利用されなくなった電報文であるが、一人でも多く『サクラサク』であってほしい。

目標に向け順調に進む人や回り道をする人、あるいは目標を変更することもあり得る。それぞれの道をしっかりと歩んでほしい。

受験シーズンになるといつも思いだすことがあるので冷笑して下さい。四〇年近く前の高校時代、卒業間近になって英語の先生から突然「友寄君、就職先は決まったか」と、問い掛けられた。私は大学への進学を密かに希望していたが、つい「県外の〇〇会社に就職決定した」と、嘘をつかざるを得なかった。

成績が悪く現役で受験しても万が一にも合格しないことは明らかであったので、一年後に大学を受験することにしてきた。態度も荒れていたもので先生からすると進学はあり得ないことだと判断していたようだ。日頃の行いからして、そのような問いかけも当然のことであった。

先生の思いとは別に、高校卒業と同時に英和辞典や国語辞典等の教材を一式新たに買いそろえ、予定通り浪人生活を送った。一年後に希望する大学に合格することができホッとした。

今月の生きもの



ガラスヒバア：ナミヘビ科

ハイサイ♪ 今年の干支を務めさせていただきます。へびのガラスヒバアです。名前は方言で「カラス蛇」って意味があるんだって。まっ、体も黒いからね。沖縄でへびと言ったらみんな、ハブを思い出すと思うんだけど、こんなにキュートなへびもいるんです。かわいい私だけど、実は毒を持っているの。ハブと違って性格はおとなしいけど、毒は意外に強いのでむやみに触らないでね。

～編集後記～

立春を迎え、あとはホントの春（暖かくて心地よい日）を待つばかりです。この冬もブランケットと湯たんぽだけで何とか乗り越えることができました。冬は夏の暑さを忘れ、夏は冬の寒さを忘れて「早く夏にっ!!」「早く冬にっ!!」と思いますが、やっぱり春と秋が一番ですね。は～るよこいっ♪は～やくこいっ♪

 2月の行事予定 



- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1日（金）区長会 | 19日（火）村学校保健委員会③ |
| 3日（日）各小学校学芸会 | 20日（水）持久走大会（喜小） |
| 4日（月）振替休日（4小） | 21日（木）大小・津小新入生保護者説明会 |
| 6日（水）体験の翼事前学習会 | 22日（金）村学推家庭地域学習部会 |
| 8日（金）体験の翼西会津町訪問（～11日） | 喜小・塩小新入生保護者説明会 |
| 11日（月）建国記念日 | お別れ遠足（幼） |
| 13日（水）幼小中一斉授業参観日 | 23日（土）わんぱく体験団⑦（～24日） |
| 15日（金）大宜味中入学説明会 | 26日（火）新入児童体験入学（各小） |
| 17日（日）大宜味中PTA美化作業 | 28日（木）体験の翼報告会 |